



商業研究部のメンバー

校門前のみかんの花



八幡浜をみかんで宣伝しよう

今年も校門の前に、白いみかんの花が咲きました。教室の窓からは、山の斜面にたくさんのみかん畑が見えます。八幡浜高校の生徒にとつて、みかんはとても身近にある存在です。しかし、私たちは、みかんの種類についてどれだけ知っているでしょうか? 「デコポン」「清見」などは知っている人が多いと思いますが、「せとか」「はるみ」「甘平」などの聞き慣れない品種もあります。全国の高校生にインターネット上でアンケート調査をする

と、みかんと言えば愛媛をイメージするが、「愛媛県産のみかんを意識して食べていない」「有名なみかんは知っているが、新種は知らない」という答えが返ってきました。

八幡浜市は、人口約4万人の小さな街です。人口の少ない八幡浜市を活性化するためには、地域の特徴を生かす必要があります。アンケート結果から分かるように、愛媛と言えはみかん、みかんと言えは八幡浜です。八幡浜の地域活性化には、「みかん」でアピールするべきだと考えました。

そこで、私たちは、「八幡浜みかん検定」を考えました。検定

# 高校生の元気玉が街を応援する

## ～地域の特色を活かした取組～

特集 7



愛媛県立  
八幡浜高等学校  
商業研究部 部長  
曾根 千紗



の企画書を作成し、内容や合格基準などを考えました。内容は、出題形式を四択クイズ形式で50問テストします。さらに、ほかの御当地検定とは、ひと味違ったものにするために、実技試験として、みかんジュースの味を当てる「利きみかんジュース」も行います。

検定を公式的なものにするため、「J A にしようわ」に後援を依頼しました。企画の目的を説明し、問題作成用資料の提供などをお願いすると、「地場産業活性化につながる」と快諾され、協力していただくことになりました。問題数や検定時間、難易度などについて打ち合わせを行い、的確なアドバイスを頂きました。



みかん検定認定証(見本)と缶バッジ

受検者の募集方法として、ポスターを作成し、認定証もパソコンで作ります。正答数で、1級から3級まで認定することにし、合格級に応じて缶バッジを渡すことにしました。缶バッジは、機械を使って手作りで作成します。

そして、楽しい雰囲気にするために「清太朗」という着ぐるみも参加させることにしました。清見タンゴールというみかんから生まれたという設定で作成しました。このマスコットキャラクターの威力は予想以上で、様々なイベントをアピールする時にとっても役立つています。

### 「八幡浜みかん検定」を実施

平成22年9月に「第1回八幡浜みかん検定」を開催しました。受検者が63名もあり、問題用紙や実技のジュースの準備などが予想以上に大変でした。

実技試験では、5種類のみかんジュースの味を当ててもらいます。あらかじめ、ジュースの特徴を書いたパンフレットを配



子供たちに大人気の「清太朗」

# 特集

## 自分たちの地域を大切に 高校生パワー全開!

### 第3回みかん検定ポスター



影響・反響

検定の準備段階や当日の様子は、さまざまメディアに取材を受けました。テレビやインターネットで全国配信されたため、「八幡浜みかん検定」の反響は予想以上のものがありました。

静岡県の方から「このような取組は静岡県でも見習わなければならぬ。そうしないと柑橘栽培は弱体化する。次回の検定を期待します。」という励ましの手紙が届いたり、みかん農家の方から、「すばらしい検定

り、試飲をします。その後、紙コップに記号を書いたジュースを配り、解答用紙にみかんの種類を書いてもらいます。実施後は、問題の正誤分析を行いました。正答率に大きな差があり、難しすぎる問題も少しあったようです。

平成23年5月には「第2回みかん検定」を実施しました。この回から、後援を八幡浜商工会議所や八幡浜市役所、八幡浜市教育委員会にもしていただくことになりました。これは、正式な八幡浜の検定として認められたということ。受検者は、前回の63名を更に上回る76名が集まりました。



第3回みかん検定の様子

静岡県の方から「このような取組は静岡県でも見習わなければならぬ。そうしないと柑橘栽培は弱体化する。次回の検定を期待します。」という励ましの手紙が届いたり、みかん農家の方から、「すばらしい検定

を作ってくれてありがとう」という感謝の言葉をかけられたりしました。

さらに、NTT番号情報株式会社からタウンページに「みかん検定」の問題を載せたいという依頼があり、平成23年7月発行のタウンページに問題が紹介されました。

街づくりの「軸」となるために

平成24年4月には「第3回みかん検定」を実施しました。今回は、テレビ愛媛の加藤アナウンサーに受検していただいて、当日、夕方のニュースで放送されました。このニュースでも、より多くの方に八幡浜のみかんを宣伝できたと思います。毎回、新聞やテレビで取り上げられるということは、この検定試験が地域に密着し、地域産品の知名度を高めるものとして認知された証拠です。

また、私たちは毎月、自分たちで商品開発した「みかんクッキー」の販売を商店街で行ったり、生徒がデザインした「みかんボックス」の販売をしたりしています。



みかんクッキーかご入り



大街道でみかんクッキーとみかんパン販売

商業研究部は、現在、地元の食材である「媛っこ地鶏」を使った商品開発をしています。鶏舎を見学し、調理している方と一緒に新商品を考えているところです。すでに、試作品が完成しているのです。近いうちに商品化できると思います。

また、八幡浜港を中心とした地域の活性化として、フェリーの乗船客に大漁旗と手を振って、お見送りをするという活動も始めました。これは、八幡浜に来てくださった皆さんに感謝の気持ちを伝えるとともに、無事に楽しい旅行ができるようにお祈りするという意味があります。実施後は、全国各地の観光客の方からお礼のメールや手紙が届くので、私たちも驚いています。このような活動によって、多くの観光客が八幡浜に来てくださるようになります。

も増え、少子高齢化に歯止めがかかると考えています。今後、さらにネットワークを広げ、八幡浜の街づくりの「軸」となるように努力していきたいです。

### 新しい取組